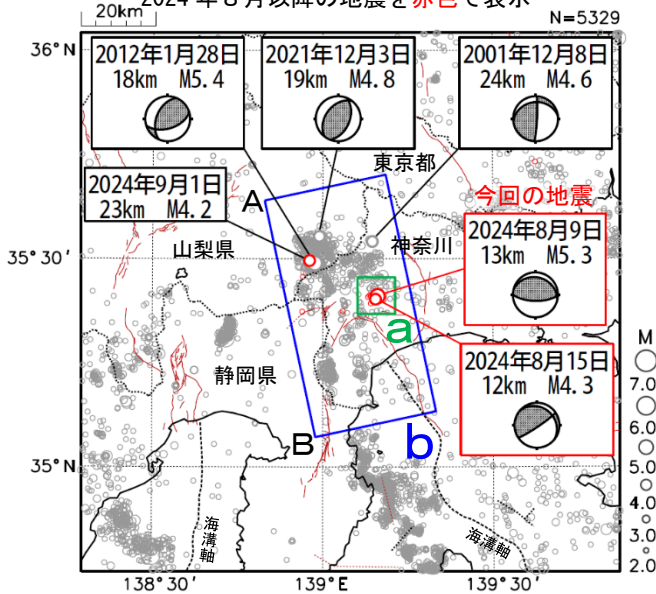


## 8月9日 神奈川県西部の地震

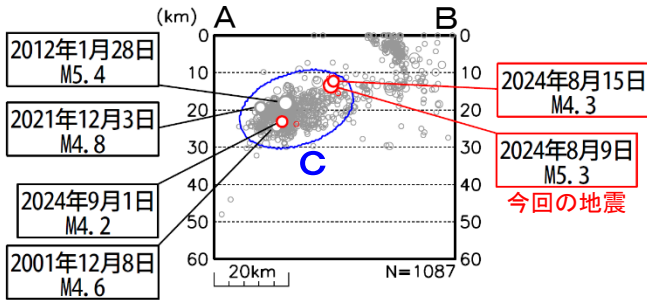
震央分布図

(1997年10月1日～2024年9月4日、  
深さ0～60km、 $M \geq 2.0$ )

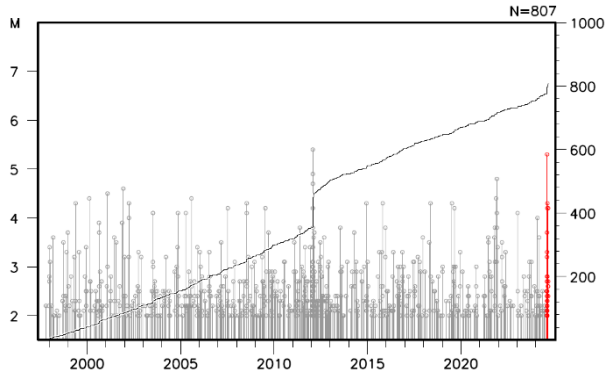
2024年8月以降の地震を赤色で表示



領域b内の断面図（A－B投影）

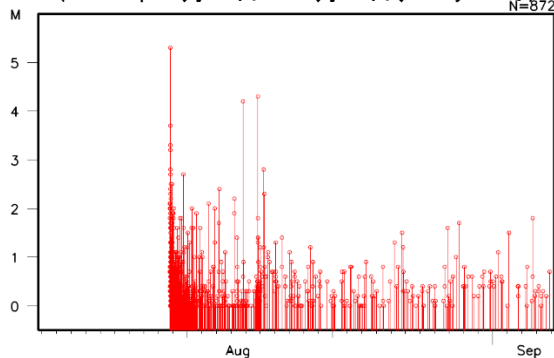


領域c内のM－T図及び回数積算図



領域a内のM－T図

(2024年8月1日～9月4日、Mすべて)



図中の茶色の線は、地震調査研究推進本部の  
長期評価による活断層を示す。

2024年8月9日19時57分に神奈川県西部の深さ13kmでM5.3の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震の発震機構は南北方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震の震央付近（領域a）では、今回の地震の発生後、地震活動が活発となり、15日にM4.3の地震（最大震度4）が発生するなど、16日までに震度1以上を観測した地震が8回（震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：1回、震度1：5回）発生した。

今回の地震により、軽傷3人、住家一部破損2棟などの被害が生じた（2024年8月15日19時30分現在、総務省消防庁による）。

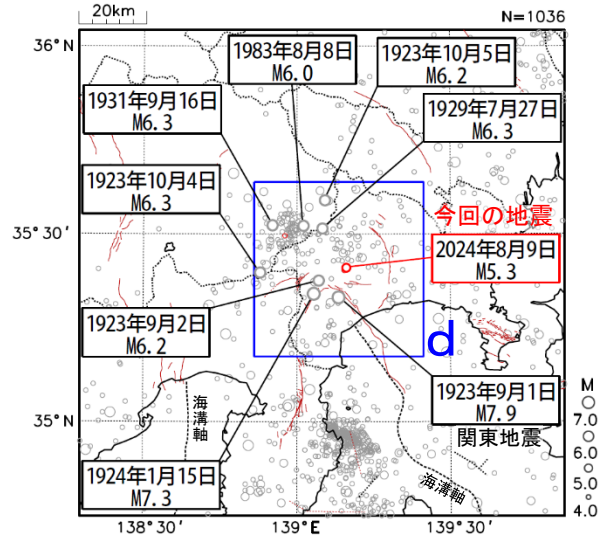
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域c）では、M4.0以上の地震が時々発生している。2012年1月28日には深さ18kmでM5.4の地震（最大震度5弱）が発生した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域d）では、関東地震後10年程度はM6.0以上の地震が複数発生していたが、それ以降では、1983年8月8日に発生したM6.0の地震（最大震度4）以外にM6.0以上の地震は発生していない。

震央分布図

(1919年1月1日～2024年9月4日、  
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$ )

2024年8月以降の地震を赤色で表示



領域d内のM－T図

